

広島県中小企業団体中央会 2015年10月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

10月の出荷量は前月比27.6%増加、前年同月比10.5%増加、売上高は前月比33.3%増加、前年同月比14.5%増加となった。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成27年9月の全国新設住宅着工数は77,872戸で、前年同月比では2.6%増加となった。また、季節調整済年率換算値では90.0万戸（前月比3.3%減少）となった。利用関係別では、持家は25,219戸で前年同月比2.4%増加、貸家は34,092戸で前年同月比13.3%増加、分譲住宅は18,239戸で前年同月比10.1%減少となった。なお、木造住宅の着工数は45,178戸で、前年同月比5.1%増加となった。

住宅着工の動向については、前年同月比で7ヶ月連続の増加となっており、昨年4月の消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響が薄れ、持ち直していると見られる。反動減の影響が大きかった持家も前年同月比で5ヶ月連続の増加となり、展示場への来場者数や受注が回復基調にあり、着工増加に繋がっていると考えられる。今般の経済対策等の効果の表れだと思われるが、引き続き今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の着工数は1,364戸で前年同月比3.9%の増加となった。このうち、持家が467戸で前年同月比8.1%の増加、貸家は528戸で前年同月比14.8%の増加、分譲は368戸で前年同月比6.1%の増加となった。地域別では、広島市は着工戸数590戸で3.7%増加、廿日市市は161戸で203.8%増加、東広島市は着工戸数109戸で58.0%増加の一方で、福山市は着工戸数277戸で24.1%減少となるなど、全体的には景況回復は十分とは言えず、組合員からも経営状況は依然厳しいとの声が多く、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

業況はよくなりそうで、なかなか良くならない状況である。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

円安の進行にもかかわらず、国内景況感の改善は感じられず、特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対し部品メーカーは国内生産台数減、プライスダウン要請や原材料高、人件費の高騰を受け、大変厳しい状況にある。昨今の円安効果には疑問を感じている。今後アメリカの金利の引き上げが実施されるとさらなる円安状況を招き、国内物価上昇、国債の信認低下が起きる可能性も考えられ、安心して国内で雇用拡大、投資拡大をする雰囲気ではない。さらに、最近の中国における株安から始まる中国経済のバブル崩壊の懸念が現実味をおびてきており、景況の先行き感は誠に不透明である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

今月は、先月に比べて全体的に売上は横ばい傾向にある。11月以降も横ばい傾向が予測される。

消費財市場への販売に勢いは感じられない状況である。更なる円安傾向になることを危惧している。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24 工場)

27 年 10 月 3,280 m³ (対前年 11.6%減少)

27 年 9 月 2,951 m³

26 年 10 月 3,711 m³

(一般機器)

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区においては、コンプレッサ関係、製鉄関係の受注不振の影響で低操業のため、それに伴い協力会社各社の操業も低調である。

江波地区においては、航空機工場拡張に伴いボーイング社向け 777 の組み立て範囲は広がり、それに伴い、協力会社各社の操業の山も高くなっている。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、前月比 0.2%減少、前年同月比 8%減少となった。

(電気機器)

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、前月比 2%増加、前年同月比変化なしとなった。輸出物件が増加している。

人の集まりがよくない。特にパートタイマーの集まりが悪い。賃金の高騰が続いているので、収益や人員確保に大きな問題がでている。賃金の高騰の原因となっているため、人材派遣会社の規制が必要だと思う。人材確保の課題が鮮明である。

来年度、省エネルギー補助金、ものづくり補助金はどうなるのであろうか。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

10 月の国内自動車販売台数は全需が 380 千台、前年同月比 4.1%減少と 10 ヶ月連続の前年割れとなった。

登録車は前年比 0.2%増加と 2 ヶ月振りの前年越え、軽自動車は 10.8%減少と 10 ヶ月連続の前年割れとなった。マツダ車は 12.5%減少と 8 ヶ月振りの前年割れとなった。

アメリカの 9 月の全需は 1,442 千台で前年同月比 15.8%増加と 2 ヶ月振りの前年越え。マツダ車も同 6.8%増加と 2 ヶ月振りの前年越えとなった。

欧州の 9 月の全需は 1,543 千台で、前年同月比 2.7%増加と 4 ヶ月連続の前年越えとなった。マツダ車も同 22.4%増加と 4 ヶ月連続の前年越えとなった。

中国の 9 月の全需は 2,174 千台で、前年同月比 9.6%増加。マツダ車は 3.8%増加と 8 ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の 9 月の海外販売合計台数は 119 千台、前年同月比 13.8%増加で 27 ヶ月連続の前年越えとなった。

マツダの 9 月の輸出動向については、欧州向け輸出台数は全体で前年比 10.0%増加と 2 ヶ月振りの前年越えとなった。

マツダの9月の国内生産台数は、前年同月比4.3%増加と4ヶ月連続の前年越えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成27年10月の船舶建造許可実績は6隻272,850総トン（前月3隻202,750総トン、前年同月5隻191,900総トン）であった。なお、このうち5隻が貨物船、1隻が油槽船で全て輸出船となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

原材料の高騰により、収益性が悪化している。

（その他）

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

今月は、ベッド関係は健闘しているが、リビング、箱物は苦戦を強いている。11月は、メーカーの催事、得意先催事等があるため、売上増を期待している。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

新聞紙上では、大都市圏での大型投資や大企業を中心に賞与増額等好景気が話題となっているが、地方都市の景況感は頭打ちの状態で、地元中小企業の業績も伸び悩んでいる。都市間格差・企業間格差がある状況である。

「資材関連」においては、好調であった公共・民間工事の受注は減少傾向にあり、停滞感がある。

「食品」においては、10月の売上も著変なく売上は前年並みである。

「繊維」においては、10月初旬は朝晩の気温低下により、秋冬肌着の出足はまずまずであったが、後半は低調となった。円安進行による海外製品の売上が下降気味で、中国の製造委託工場との関係も希薄化の傾向にある。

「雑貨」においては、生活雑貨については、外国人からの引き合いが引き続き増加傾向にあるが、量的拡大までには至っていない。

協同組合福山卸センター

自転車の卸売業者より、円安や組み立て工賃の上昇等で資金繰りが悪化し、破産申請することになった旨の連絡があった。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

9月～11月にかけ、官民ともに見積案件が例年通り増えてきている。今期中の竣工案件で、我々業界も受注に向け活気づく時期である。新築案件の受注活動と、リニューアル提案活動を並行して活動していかなければならない。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

10月末で、加盟店が1社閉店した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

各地の展示会も終わり、売れ行きはゆるやかに回復基調に入った。畳替えシーズンの到来もあり、今後の需要増に期待している。小口の入用買いも増加傾向にある。

中国産畳表では、古物のい草を中心に製織をしている。新草でも一部織っているが、本格的ではない。輸入業者筋では、相場を見極めながら入用買程度で、主に古物が多く輸入されているようである。

(小売業)

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

前年同月比、前月比共に売上は増加した。これは店売以外の売上が増加したことが大きな要因である。この時期の当組合員の主力の山間部地区の店では、稲刈りと祭りが主な行事となっており、秋祭り企画の2点7,000円(刺身、寿司、オードブルの3点から2点の選択)に注文が多く入り、好評であった。また、この時期の特産「松茸」も今年は気象条件が良かったことから、前年を上回った。

協同組合三次ショッピングセンター

今月は、イベントの強化、店舗のリニューアル、競合店スーパーの改装に伴う休業などもあり、客数、売上共に前年を上回った。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

10月度の販売実績は前年同月比11.4%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比18.7%減少、BDレコーダー同10.9%減少、音響・車載機器同20.9%減少、冷蔵庫同3.6%増加、洗濯機同14.2%減少、エアコン同5.3%減少、エコキュート同12.3%減少、IHクッキングヒーター同2.0%増加となった。

組合員においては、各自治体のプレミアム商品券の登録店が少なく、登録した店舗でも使用者は少なく売上には寄与していない。

(商店街)

●商店街(各種商品小売業)

呉本通商店街振興組合

最近の消費者動向として、①葬祭が簡素化され、葬儀屋一軒ですべて完結させる傾向にある。(寺や進物店の売上減少)②儀礼的なものには、お金をかけなくなった。(お歳暮件数の減少、進物店の売上減少)③年賀状・喪中はがきは印刷屋ではなく、パソコンで作るようになった。(印刷屋の売上減少)④カラオケニーズの高まりか、夜はスタンドバーとして営業している店舗が昼間は音響設備を利用し、カラオケ店として営業している店舗が増加している。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比1.3%増加、前年同月比0.3%減少。車検場収入は前月比2.2%増加、前年同月比0.8%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比9.5%増加、前年同月比11.6%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

看板の安全性に注目が集まり、改修・補修工事が増加している。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

10月の売上については、前月比27%増加、前年同月比101%増加となった。

前月比で見るとカーテン工事が52%増加、敷物工事は17%減少、壁装工事は11%増加と敷物工事以外は大幅な増加となった。

前年同月比では、カーテン工事は114%増加、壁装工事は109%増加、敷物工事は24%減少と大幅に減少となった。

工事物件については、前年累計で5%増加と微増であるが、カーテン工事については4%減少となった。内装工事全体では前月比、前年同月比共に大幅な増加であるが、前年累計では微増であり、依然企業間格差は大きくなっている。

神辺建設業協同組合

若年層の雇用が減少傾向にあり、雇用条件の改善が業界全体での課題と成っている。

福山地区電気工事業協同組合

10月における工事受注件数は、前月比1%減少、前年同月比44%減少となった。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島県ロジネット協同組合

10月の荷動きは、堅調に推移したようである。月初めから月末まで大きな荷物量の変化はなく、毎週水曜日をピークとして変動する、比較的荷物量の推移を予想しやすい月であった。季節物の食料品関係の動きも好調で、鉄鋼関連も関東向けを中心に動いたようである。配車ネットワークの情報をみると、車両量1に対し、5～8の割合で荷物量が推移しており、車両不足が目立った月であった。

軽油価格は週変わりで変動しているが、原油価格高騰の影響は少ないようである。精製メーカーとしても生産は微増で、在庫確保が十分であるため、最終値動きは85円程度となった。

松永地区トラック事業協同組合

9月はシルバーウィークに伴う休日増が影響し貨物輸送量は減少した。今月は好天にも恵まれ、輸送量は増加したが、対前年同月比では横ばいの状況となった。

松永地区のトラック事業者は各社とも特定の顧客の貨物の輸送を行っている事業者がほとんどで、顧客(メーカー)の動向に応じて貨物量が増減するといっても過言ではない。顧客の業績が下がれば運賃ダウンを要請され、取引を継続するためには要求を受け入れざるを得ないという事態も発生している。ドライバーの新規雇用は全くなく、逆に離職者が現在も出ており、新規雇用が出来なければやむを得ず減車し、事業を縮小に追い込まれる事業者もでている。

広島輸送ターミナル協同組合

ドライバー不足、車両不足の傾向が続いている。燃料価格は低下しつつある。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

組合員が1名新規加入し、28名から29名となった。

地価調査基準地報酬の入金があり、売上高が増加し、収益等が好転している。前年同月比は特に変化なし。

不動産動向については、依然として利便性の良否で値上がりしている地域と下落傾向にある地域とにわかれている。また、マンション販売については、旭化成建材のデータ改ざん問題の影響により、買い控えがおきている。